

令和2年度 学校評価【自己評価】の概要について

1 各部等の自己評価

令和2年12月、今年度の目標等について自己評価を行い、反省を行った。

(1) 重点目標

全体的におおむね達成できたという肯定的な評価となった。

重点項目アについては、日ごろから粘り強く継続した指導を進めてきたことにより、落ち着いた学校生活ができている状況である。今後もこれらの取り組みを継続していきたい。

重点項目イについては、落ち着いた学校生活ができただことにより、学習活動も充実した取り組みができている。今後は新しい学習指導要領を見据えた指導が展開できるようにしていきたい。

重点項目ウについては、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅な制限をせざるを得なくなったが、そのような状況下においても工夫をして活動を実施することができた。今後は今年度の経験を生かし、効果的かつ効率的な指導を展開したい。

(2) 各部

全体的におおむね達成できたという肯定的な評価となった。

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、年度当初の目標や計画等を常に修正しながらの経営となったが、今後もコロナ渦が継続することが予想されることから、情報の整理や関係機関との連携を通し、円滑な経営を進めていきたい。

(3) 各学年

全体的におおむね達成できたという肯定的な評価となった。

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、学校祭の中止や各種学校行事の規模縮小等をせざるを得なかった。保護者や生徒の意見を最大限尊重したいという気持ちはあったものの、安全面等の観点から苦渋の決断をせざるを得なかった点については心残りである。また、臨時休校や教育活動の制限等により、指導がうまく進められなかった点もあった。今後は安全面等を担保しつつも、教育的効果が最大限発揮されるよう、効果的かつ効率的な指導を展開したい。

(4) 各学科

全体的におおむね達成できたという肯定的な評価となった。

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたものの、各学科の特徴を生かし、創意工夫をした指導を展開することができた。今後は今年度の経験を生かすとともに、指導内容や方法の研究をさらに進め、生徒の成長に資する指導を展開したい。

2 生徒・保護者アンケート

令和2年12月、生徒及び保護者へのアンケートを行った。

(1) 生徒アンケート(23項目)

肯定的回答が80%を越えた内容については11項目、肯定的回答が30%を下回った内容については2項目、前年度から肯定的内容が5ポイント増加した内容については2項目、前年度から肯定的内容が5ポイント低下した内容については1項目であった。生徒指導に係わる点については各部等の自己評価とほぼ同様の結果となり、学校全体の雰囲気は良くなってきていると評価できる。今後は学習指導に係わる点を重点的に指導したい。

(2) 保護者アンケート(19項目)

肯定的回答が80%を越えた内容については6項目、肯定的回答が30%を下回った内容については1項目、前年度から肯定的内容が5ポイント増加した内容については0項目、前年度から肯定的内容が5ポイント低下した内容については4項目であった。新型コロナウイルス感染症の影響によるポイント低下項目も見られるが、結果を謙虚に受け止め、今後の指導を展開したい。

(3) その他

自由記述回答欄については、生徒、保護者ともに、多くの貴重な意見が寄せられた。早急に改善が必要な内容(改善できる内容)、長期的に改善していくべき内容、現実的に改善が厳しい内容等、様々な内容が見られるが、精査して今後の教育活動に生かしたい。また、生徒、保護者ともに本校へ入学して良かったという項目が80%を超える肯定的回答となった。この想いを裏切らないためにも、さらに充実した教育活動を展開していきたい。